

補助135号線沿道まちづくり検討部会のメンバーを募集します

現在、都市計画道路補助 135 号線は事業化に向けて準備を進めています。

そこで、補助 135 号線沿道の将来イメージとそれを実現するまちづくりルールを検討していくため、まちづくり検討部会のメンバーを募集します。

まちづくり検討部会は、武蔵関駅周辺地区まちづくり協議会の中の部会として活動していきます。

整備の概要についてはニュース 21 号をご覧ください。
(二次元コードはこちら)→



■ 検討内容

補助 135 号線沿道の街並みの将来イメージ、まちづくりルール等について

■ 会の構成

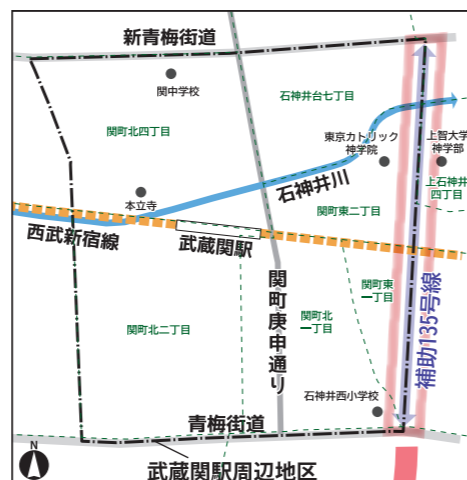
令和2年から活動している武蔵関駅周辺地区まちづくり協議会の部会として位置付けます

■ 活動期間

令和5年11月頃から概ね1年間で、計4、5回程度の活動を予定しています。

応募資格を確認のうえ、ご応募ください

- 応募資格：補助135号線沿道（右図赤枠範囲内）にお住まいの方、営業されている方、土地・建物の権利をお持ちの方
※ご不明な場合は、下記お問合せ先までご連絡ください。
- 募集人数：若干名
※ただし、地域のバランスや年齢等を勘案し、選考させていただきます。
- 応募方法：下記お問合せ先に、9月21日（木）17時までに電話でご連絡ください。
後日、応募用紙を郵送しますので、必要事項を記入のうえご返送ください。
- 応募締切：令和5年10月2日（月）必着



※道路の位置は概略です

[発行]練馬区新宿線・外環沿線まちづくり課

第22号

武蔵関駅まちづくりニュース

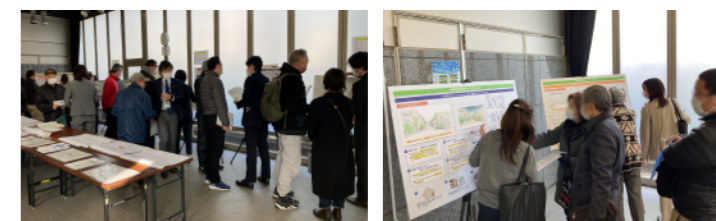
令和5(2023)年9月

連続立体交差事業に伴う まちづくりに取り組んでいます！

オープンハウスを開催しました

延べ93名のご来場！

令和5年2月19日（日）、20日（月）の2日間にわたり、武蔵関駅周辺のまちづくりの状況や周辺の都市計画事業の概要等について広くお知らせするために、オープンハウスを開催しました。



オープンハウスの様子（会場：関区民センター1階区民サロン）

当日のご意見の一部をご紹介します

- 住民の意見を取り入れて良い街づくりができることを望む。
- 良好な住環境を守るための、まちづくりルールは策定するべきだと思う。
- まちづくり協議会の活動を知り、自分も街の将来像やルールを考えてみようと思った。
- 補助135号線の進捗が最も関心のあるテーマだった。
- 用地買収や工事のスケジュールを知りたい。
- 道路ができて便利になるのは良いが、騒音・振動が心配だ。

最新のまちづくりルールの検討内容について
2～3ページ
をご覧ください

補助135号線沿道のまちづくりについて
4ページ
をご覧ください

関連する事業の流れについて



● 補助135号線
事業化に向けて準備を進めています

● 西武新宿線(井荻駅～西武柳沢駅間)の連続立体交差事業
● 交通広場および側道 ● 補助230号線
令和5年度の事業認可の取得を目指しています

※測量や用地取得の際にはそれぞれ説明を行います。

お問合せ先

練馬区 都市整備部 新宿線・外環沿線まちづくり課

担当：山下・菅谷・市川・佐々木

☎ 176-8501 練馬区豊玉北6丁目12番1号

☎ 03-5984-1058 (直通)

✉ EN-MACHI@city.nerima.tokyo.jp

FAX 03-5984-1226

第4弾 まちづくりのルールを検討しています

まちづくり協議会では街並みの将来イメージの実現手法として、まちづくりルールについて意見交換をしています。今号では、第32回・第33回協議会で出された主なご意見をご紹介します。
※これまでのルールの検討状況のご報告はニュース19号・20号・21号をご覧ください



第32回・第33回の協議会で出された主なご意見をご紹介します

テーマ1 石神井川沿いのまちづくりルール

石神井川沿いの街並み将来イメージ



住宅と自然が調和したみどりあふれる街並み

石神井川

川に面する建物の色合い (建築物等の形態又は色彩その他の意匠の制限)

- 原色のような彩度の高い色合いは、建物の規模に関わらず規制できるとよい。
- 色彩のルールは必要だろう。きめ細やかな基準を定めるとよい。
- 練馬区景観計画の対象とならない小規模な建築物に対しても、色彩基準があるとよい。

川に面する形態等のデザイン (建築物等の形態又は色彩その他の意匠の制限)

- 室外機の目隠し等の設置については、ルールとしての制限は不要だろう。
- 空調設備等に目隠しをすると換気効率が悪くなるのではないかな。

川に面する敷地でのブロック塀等の制限や緑化 (垣又はさくの構造の制限)

- ブロック塀の設置を許容するにしても、高さの制限が必要だろう。
- ブロック塀の高さは低く抑えて、上部はフェンス等にするとういのではないかな。
- 川沿いはできるだけ見通しのきくような生垣としたいが、維持管理に費用や手間がかかるためルールとするのは難しいのではないかな。
- マンション等の大規模建築は、セットバックして植栽などとし、圧迫感を減らす工夫ができるとよい。

屋外広告物の色合いや大きさ (建築物等の形態又は色彩その他の意匠の制限)

- 屋外広告物の大きさや色彩のルールは必要だろう。
- 広告物の表示面積はなるべく小さくできるとよい。

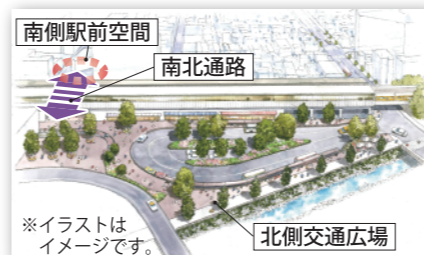


テーマ2 駅周辺の歩行者ネットワークからみた南北軸と駅前空間のあり方

南北通路

※南北通路は区でこの位置を想定しています

- 駅が発展し、利用者が増えることを前提とするのであれば、幅員は広い方がよい。
- 南北通路の幅については、店舗の連続性などを考慮したい。
- イベントなどを催して、商店街が南北で一体になるとよい。



北側交通広場・南側駅前空間

- 広場で、関のボロ市やマルシェなどイベントが出来るとよい。
- 現状は、バス停がバラバラなので、交通広場に集約されて分かりやすくなるとうい。
- 広場は歩行者中心の憩いの場になって欲しいので、人が集まれるベンチや樹木があるとよい。
- ベビーカーやお年寄りに優しいバリアフリー空間になるとよい。
- 南側駅前空間は、車と人が輻輳するので安全対策が必要だろう。

テーマ3 地区全体のみどり

まとまったみどり

- 駅から武蔵関公園までの石神井川沿いには緑がほしい。かつてのような桜並木としたい。
- 緑は必要ではあるが、管理が大変になる。
- 石神井川沿いの遊歩道を充実させて、地域資源（武蔵関公園・天祖若宮八幡宮・東京女子学院・本立寺・東京カトリック神学院・上智大学神学部）をつなぐ緑のネットワークを形成してほしい。

テーマ4 安心・安全な暮らしのために重要な地域の道路

幅員6mの道路空間の確保について

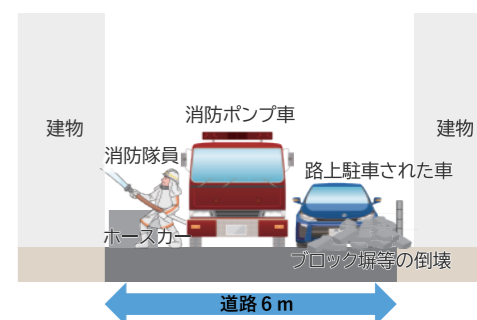
- 地域の防災上の観点から、幅員6mの道路整備は必要だと思う。
- 再建できない敷地が出ないかが不安である。

隅切りのルールについて

- 交差点部は見通し空間として隅切りがあると安全だろう。
- 地域の防災上の観点からも、隅切りの整備は必要だろう。
- 隅切りの重要性は理解できるが、厳しいルールのように感じる。

なぜ幅員6m??

災害時に、緊急車両が通行でき、消火活動や救護活動を行うためには、幅員6m以上の道路が必要とされています。



まちづくりルールに関するご意見をお寄せください

- 募集テーマ：上記テーマ1～4に関するまちづくりルール
- 必要事項：テーマを明記のうえ、①お名前 ②ご住所（丁目まで） ③ご意見を記載
- 提出方法：本ニュース4ページの間合せ先へ郵送、FAX、または電子メール等で提出ください
- 提出期限：令和5年9月22日（金）